

# 郷の集

行次者 藤 剛  
 文責 藤 剛  
 編集 藤 剛  
 印刷 藤 剛  
 発行人 藤 剛  
 出版 藤 剛

## 無用の用

校長 伊藤 剛

現代はテスト万能の感が強い。幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学校を通じてテストにうまく合格したものが、よい学校に入学が出来、卒業後は人生の出世コースに乗れるように考えられる。したがって学校の教科の中でもうかりすると直接テストに関係の薄い芸能教科は軽視されようとする。しかし我々人間の人格形成の根本的なものは、豊かな暖かい感情を持つことではないだろうか。テストに成功させるために、金を獲得するために、家庭も社会も学校も感情の教育の重要性を忘れてはならない。戦後青年の不良化が漸次増加し、中学校、高等学校で生徒の教師への暴力行為が頻発するのは戦前には考えられない事であり、人間として何か欠如しているのではないだろうか。福井県でも昨年から中学教育の正常化補習教育の全廃が強調されだした教育、二三年後に小学校の教育課程の改訂が予定されているが、その際音楽、美術、図工等の芸能関係の時間が増加される

十年前にして日本民族の将来について、真の意味の反省に入つた観がある。ここに最近読んだ「黄金の言葉」(亀井勝一郎著)の一節を紹介しよう。

「原始時代の人は、その悪人に花輪を捧げることによつてはじめて獣性を脱した。これは岡倉天心の「茶の本」に出てくる言葉である。人間が獣性を脱して、人間らしく成長するとはどういふことであろうか。ここでは「花輪」を悪人にささげることがあけられるの微妙な用を自覚すること、人間ははじめて「文化」の世界に入るといふ意味である。花そのものは我々の食物にならないし、腹の足しにもならない。時か来れば散つてしまふ。この意味では花には何の実用性もない。花束を贈るなどは、無駄に直接我々の生き方にむきかかるといふことになる。しかし小説は同時に、「花」の要素をまよひむきと忘れてはならない。それが困つた事だと思つて居る。

### 子供達の幸福を願つての向上をめぐらう

昨年度の計画を、色々反省し、よりよい母親学級になるよう運営委員会を開き次のように決めて、一時間でも教室

- 1.授業参観
- 2.クラブ活動
- 3.教材の研究
- 4.話し合い

つなくとも、読んで大へん楽しい、美しいといった場合はいくらかもある。我々は一瞬、夢のような世界に誘ふ場合もある。音楽にも映画にも絵画にも、こうしてそれが芸術を芸術たらしめている大切な要素である。

換言すれば、芸術とは一種の「遊び」だということである。むしろ頭を使う、感覚だつて鋭くなければならぬ。知的遊戯と言つてもいいが、この「遊び」という言葉のうちには、「無用の用」という考え方が入つて居る。社会とか日常生活に直接役に立たなくても、何かしら自分の心をやわらげ、ゆとりを与えてくれる。そういう遊びを人間は必ず求めているのである。たとい空しくとも、自分の日常生活を忘れさせてくれるようなものを求めているのだ。

最後に自分自身のことを生活をより返つて見ると、日曜日は庭園や花壇の手入れをする時が一番楽しく、映画やスポーツにもなかなか興味がある。北九州旅行の土産に「握りの自然石」相当の金を出して妻の小言も聞いた末、年をとるにつれて無用の用がだんだん多くなりつゝある。実に困つた事だと思つて居る。

## 学校を中心に進もう

会長 吉江 照夫

青葉の季節となり天地すべして活動期を迎えました。会員の皆様も愈々御健勝のこと、お喜び申し上げます。当小学校愛護会も皆さんの御協力により一日と充実しております。誠に御同慶に堪えません。

昨年度は二年幼稚園に今年度は校内放送と内容充実と云ふことに重点をおき活動してきましたが幸に会員の御熱意により予期以上の成果があがった事を深く感謝申し上げます。

環境は人を支配する。と云ふ成長を眺めていると、この言葉がなるほどとうなづかれます。

子供達がテレビを見てすぐ鉄人のまねごとをするのも、子供達が如何に周囲にあるものを、直ぐ吸収し、これを実行に移すかと言ふ端のな表れのごさいます。家庭の環境や、母の生活態度の中に表れて行く様子を見てみると、本当に恐ろしい位のもです。母となつて十五年三児の母として、より良き母として努力して来たかと言ふ事を振り返つて見る時、子供の欠陥が又母としての努力の至らなかつた点だと、反省し本當に考へさせられます。最近読んだ本の中に「子供の躾と大切な必要はなは、口でやかましく子供をしつけるのではなく大人が実行しなければならぬ。」と言ふ事が書かれて居りましたが、最近の少年の不良化問題が新聞紙上をにぎわしている事等を見ますと、私達母親として先づ家庭は人づくりの根源であると言ふ深い自覚を新しに行かなければならないと思ひます。

最近足は各々の産業分野で労働不足が顕著になつて参り、農作業の省力化、技術の進歩と共に、農村の中年婦人までも、家庭を出て、農外収入に依存する傾向が非常に多くなつて来た事は農村の子供達にとつて不幸な事、子供が学校から帰つて「お母さん」と声をかけて「お母さん」と声をかけられる部露の公民館等で農閑期の適当な収入源を得られる方法を皆で考えた方がいいと思ひます。

病魔の発生を未然に防ぐ為環境衛生が喧ましく言はれるのと同様に子供達のより良き芽を伸ばす為にも、母親として子供達の良き環境を作る為の努力を惜しんで、はならないと思ひます。

### 芽

北本堂 小西洋子

環境は人を支配する。と云ふ成長を眺めていると、この言葉がなるほどとうなづかれます。

子供達がテレビを見てすぐ鉄人のまねごとをするのも、子供達が如何に周囲にあるものを、直ぐ吸収し、これを実行に移すかと言ふ端のな表れのごさいます。家庭の環境や、母の生活態度の中に表れて行く様子を見てみると、本当に恐ろしい位のもです。母となつて十五年三児の母として、より良き母として努力して来たかと言ふ事を振り返つて見る時、子供の欠陥が又母としての努力の至らなかつた点だと、反省し本當に考へさせられます。最近読んだ本の中に「子供の躾と大切な必要はなは、口でやかましく子供をしつけるのではなく大人が実行しなければならぬ。」と言ふ事が書かれて居りますが、最近の少年の不良化問題が新聞紙上をにぎわしている事等を見ますと、私達母親として先づ家庭は人づくりの根源であると言ふ深い自覚を新しに行かなければならないと思ひます。

最近足は各々の産業分野で労働不足が顕著になつて参り、農作業の省力化、技術の進歩と共に、農村の中年婦人までも、家庭を出て、農外収入に依存する傾向が非常に多くなつて来た事は農村の子供達にとつて不幸な事、子供が学校から帰つて「お母さん」と声をかけて「お母さん」と声をかけられる部露の公民館等で農閑期の適当な収入源を得られる方法を皆で考えた方がいいと思ひます。

病魔の発生を未然に防ぐ為環境衛生が喧ましく言はれるのと同様に子供達のより良き芽を伸ばす為にも、母親として子供達の良き環境を作る為の努力を惜しんで、はならないと思ひます。



### 「子供に小言を云う時」

毎朝子供達がいつて来ますと元気がよく家を出る。そして午後帰宅する頃には親達には居なくて夕方になるまで子供達は外で友達と遊ぶ。かきつた」と云う映画に出て来る様子を、現在の子供の状況だと思ふ。そして夕方から夜にかけてのかがり火の時間の間、子供達を一方的にまくし立てるのを知らず知らずの間に自分の心の中に蓄積して行く。こんな事は、悪念になる。

本校を訪れた新聞記者に「この学校の校庭はとてもきれいな校庭ですね。」と云うので「外そうじにうんた力を入れておられるのですか。」との先生方も同じ調子である。

本校では特別に外そうじに力を入れて居るわけでもない。毎朝朝礼前に外で元気に遊んでいる子供達の中にまじつて一心に草むしりなどをして居る上級生の姿を見かけられた事がある。これは六年の週番の子供達を中心になつて一生懸命になつて働いて居る姿である。

「昔の海軍の様に洋服に身体を合わせよ」とかそんな事を言われても無理な事だ。何と何と間に合わせようとしたが、暑くなるにつけ段々薄着になり、肩巾も丁度合い、全くおあつらえ向の可愛い夏服姿の誕生となりました。

幼稚園にギャング現わる。幼稚園にギャング現わる。幼稚園にギャング現わる。幼稚園にギャング現わる。幼稚園にギャング現わる。

幼稚園にギャング現わる。幼稚園にギャング現わる。幼稚園にギャング現わる。幼稚園にギャング現わる。幼稚園にギャング現わる。

### 可愛い夏の園児服

昨年の夏服があまり大きかつたので今年は小さくしてはいたと業者の方へお願いしたところ、小さくなりすぎて困つた事だと思つて居る。

「昔の海軍の様に洋服に身体を合わせよ」とかそんな事を言われても無理な事だ。何と何と間に合わせようとしたが、暑くなるにつけ段々薄着になり、肩巾も丁度合い、全くおあつらえ向の可愛い夏服姿の誕生となりました。

去る六月五日、長谷川先生が野うさぎを一匹学校へ持つてこられた。現在四年生が飼つて居るが、名前をチョコとつけてすくすく育つて居る。

### 私の名は

去る六月五日、長谷川先生が野うさぎを一匹学校へ持つてこられた。現在四年生が飼つて居るが、名前をチョコとつけてすくすく育つて居る。

### 学校園

新学期が始まつてから学級学校園にサルビア、グラジオオラスの苗や球根を買つた。現在は、グラジオオラスはやがて花を咲かせようとして居る。子供達は朝学校へ来ると、学級園の世話を懸命になつてやつて居る。



**質問**  
問 「子供が先生の言われた事ならよくききますが、親の言う事はききません。どうしたらよいでしょうか。」

**答** 本校 尾崎千代枝  
中浜田 焯博  
答へ、親の言う事はききません。どうしたらよいでしょうか。

大変むづかしい問題ですね。私自身、子を持つ親として度々考えさせられる事だからです。そこで一語に考えて見たいと思います。子供が言うことをきかない時「おまわりさんに言いますよ」「先生に言いつけてはいいでしょうか。」「いいかえれば「自分はいけど他の人が怒るからやめなさい」と言うのと同じではないでしょうか。まず親が逆上しないで、何故悪いのか、はつきり理由をいって考えさせなければ、他人がこなければ何をやってもいいと考えるようになるのではなからぬでしょうか。又親と言ふものは常に子供に「かくあつてほしい」と考えておられると思いませんか。「かくあつてほしい」という人間にまず親がならなければなりません。ある子供がミルクをいたたく時、アグラをかいているのです。注意をしますと「ぼくの父ちゃんもこうしてるわ」と言うのです。これは一々の例にすぎませんが、口先だけで親の言う事をきかすのではなく、親が自ら実行して見せる事も大切ではないでしょうか。この事は私達教師についても言える事だと思えます。答へ、私達にはありませんが、私の思っている事を述べさせていただきます。

**大へん失礼大げさで**  
盛夏も近づく暑い日は続くので子供達も一様にぼろぼろと汗を流して机に向つている。  
授業中の子供達の目の輝き。これこそ一時間の授業が彼等の脳裏に強く焼きつけられるか否かのキポイントである。  
清く澄んだ活き活きとした目。



**ありがたう**  
六年 三上ひろ子

**放送施設が出来て**  
私は放送部です。だから一日おきに放送室にはいつて、放送します。そのたびに、新しい放送室が出来てよかったです。私達は、今までの放送室の中に、少し古い機械がはいっていただけです。それなのに、今は明るいへやに、多くの新しい機械が、いつばいいはいつてい

放送室を造っている間は、これは、何になるのだから。どのようなへやになるのだから。だれがはいるといふ。出来あがった時には、早くその中へはいりたかった。二、三日たつと、先生は放送部を二人決めるとおつしやつた。みんな、なりたいたい、口々に言った。その結果、私と藤子ちゃん、選ばれた。私は、もう、う

いる。その時の子供の目がかがやかさ。何と素晴らしい輝きであろう。知らない事ながら学校へやつて来る。出そうとしている目なのである。これこそ教師として望んだ目なのである。しかし今日この頃の子供達の目はどうか。おそくまでつづらぬテレビ番組

**子供と家庭**  
中浜 山口しげ子

現代の子という言葉が近來問題にされていますが、それをめぐる論争の根っこには、それそれの人々の主張を支えている思想があり、どんな子供に育てたいか、どんな生活態度やモラルがわけてあるか、という事

現代の子といふ言葉が近來問題にされていますが、それをめぐる論争の根っこには、それそれの人々の主張を支えている思想があり、どんな子供に育てたいか、どんな生活態度やモラルがわけてあるか、という事

現代の子といふ言葉が近來問題にされていますが、それをめぐる論争の根っこには、それそれの人々の主張を支えている思想があり、どんな子供に育てたいか、どんな生活態度やモラルがわけてあるか、という事

**遠足に**  
事寄せて

北本堂 小西カズイ  
鳥の声もどかな春もたけなわの頃私は町へ用足した。近頃のA駅へ出かけた。私と一足おくれで反対面より小学生の遠足の一行がどやんと狭い構内へ入ってきた。どの学校でも男子は少ないらしく、女子の華やかな服装が目をはみはる程美しかった。頭にかむつた帽子どの子をもてまもる優劣はつけ難く、こんな所を家の子供が見たらさぞあれもほしいこれもほしいとねだるであろう。それにつけても服装の統一された我が校は誠に有難いものである。この一行の引率は校長先生らしいひげをのばした先生と若い女の先生三人で、小学校の三四年である事が分かる。遠足は楽しいものである。こうして年老いても幼い日の遠足の思い出にひたる時は又格別楽しいものがある。今のうちに美しい洋服も帽子もなかつたが、母の心づくしのお弁当を友と共に開く時の楽しさは今になつても忘れぬ事が出たら……と返す……も残念でならない今日この頃である

「おはよう御座居ます。」「御苦労様です。」私と給食当番の方々の朝の挨拶です。給食室で待つて下さるお母様方に会うと「お忙しい中を来て下さったの、うれいいなあ」と思わずにはいられません。私達が調理をしている時、子供達がちらつと顔を覗かせます。誰だろうと思つて見えます。当番に来る居る方のお子さんか、その子は母親が当番に来ていると思ううれいいなあです。又この様なこともありました。「先生、子供が行くのなら、おいしいの作つて」つて言うんです

「おはよう御座居ます。」「御苦労様です。」私と給食当番の方々の朝の挨拶です。給食室で待つて下さるお母様方に会うと「お忙しい中を来て下さったの、うれいいなあ」と思わずにはいられません。私達が調理をしている時、子供達がちらつと顔を覗かせます。誰だろうと思つて見えます。当番に来る居る方のお子さんか、その子は母親が当番に来ていると思ううれいいなあです。又この様なこともありました。「先生、子供が行くのなら、おいしいの作つて」つて言うんです

**給食当番のお母さん**

「おはよう御座居ます。」「御苦労様です。」私と給食当番の方々の朝の挨拶です。給食室で待つて下さるお母様方に会うと「お忙しい中を来て下さったの、うれいいなあ」と思わずにはいられません。私達が調理をしている時、子供達がちらつと顔を覗かせます。誰だろうと思つて見えます。当番に来る居る方のお子さんか、その子は母親が当番に来ていると思ううれいいなあです。又この様なこともありました。「先生、子供が行くのなら、おいしいの作つて」つて言うんです

「おはよう御座居ます。」「御苦労様です。」私と給食当番の方々の朝の挨拶です。給食室で待つて下さるお母様方に会うと「お忙しい中を来て下さったの、うれいいなあ」と思わずにはいられません。私達が調理をしている時、子供達がちらつと顔を覗かせます。誰だろうと思つて見えます。当番に来る居る方のお子さんか、その子は母親が当番に来ていると思ううれいいなあです。又この様なこともありました。「先生、子供が行くのなら、おいしいの作つて」つて言うんです

「おはよう御座居ます。」「御苦労様です。」私と給食当番の方々の朝の挨拶です。給食室で待つて下さるお母様方に会うと「お忙しい中を来て下さったの、うれいいなあ」と思わずにはいられません。私達が調理をしている時、子供達がちらつと顔を覗かせます。誰だろうと思つて見えます。当番に来る居る方のお子さんか、その子は母親が当番に来ていると思ううれいいなあです。又この様なこともありました。「先生、子供が行くのなら、おいしいの作つて」つて言うんです

**「子どもは鏡」**

今更、耳新しい言葉ではないが、一度味つて見てもよい言葉だと思ふ。

私は時折どの組にも顔を覗かせるが、夫々等級の個性に受ける教師の個性が溢み出てくるという事である。私共教育者として、私共教育を専門職として、子どもを育てるという事は、子どもを育てるという事である。子どもを育てるという事は、子どもを育てるという事である。子どもを育てるという事は、子どもを育てるという事である。

子どもを育てるという事は、子どもを育てるという事である。子どもを育てるという事は、子どもを育てるという事である。子どもを育てるという事は、子どもを育てるという事である。子どもを育てるという事は、子どもを育てるという事である。